

新公立病院改革プランの点検・評価の概要
(令和2年度実績)

団 体 名	外ヶ浜町								
プ ラ ン の 名 称	外ヶ浜町病院事業新改革プラン								
策 定 日	平成 29 年		3 月		31 日				
対 象 期 間	平成 29 年度		～		令和 2 年度				
病院の現状	病院名	外ヶ浜町国民健康保険外ヶ浜中央病院			現在の経営形態		公営企業法財務適用		
	所在地	青森県東津軽郡外ヶ浜町字下蟹田42番地1							
	令和2年度当初の許可病床数 (令和2年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		一般・療養病床の病床機能	44					44	
	令和2年度中の許可病床数の変更状況 (令和〇年〇月〇日変更)	病床種別	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること	
一般・療養病床の病床機能						0			
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>【プラン】 当院は蓬田村以北の2町1村を診療圏域とする地域唯一の二次救急医療の維持・確立を担う救急告示病院及びへき地医療病院として欠かせない医療施設となっており、限られた医療資源を有効に活用し、更なる地域医療の充実に向け、地域医療構想の柱である「病床の機能分化・連携の推進」に努めていく。 【令和2年度実績等】 青森地域医療圏内の中核病院である青森県立中央病院及び青森市民病院との病床機能分化及び医療連携等は以前から構築されていることから、その体制の維持・継続に努めた他、老朽化が著しい病院施設の今後の在り方等について、当院が担うべき役割や地域医療構想の趣旨等を踏まえた検討を行った。</p>							
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況	<p>【プラン】 病院の機能再編及び関係機関との連携を強化しながら在宅医療の根幹である退院支援、急変時の対応、看取り等の充実を図る。 【令和2年度】 増加する在宅医療の充実に向け、関係部署との情報共有や連携強化を図るため、当院の医療連携相談室が中心となり、町担当課及び診療圏内各福祉施設等と定期的に「連携会議」を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者が参集する会議は行わず、電話、ファクシミリ及びメールによる連絡手法に止まった。</p>							
	③ 一般会計負担の考え方	<p>総務省操出基準に基づき一般会計から繰り入れている。 令和2年度の基準外繰入れは収益的収支分については併設する老人保健施設事業における収支不足分、資本的収支分については、建設改良費に充てる助成金が一般会計を通じて交付されたことから、当該助成金相当額及び老人保健施設事業流動資産確保のため企業債償還元金相当分を繰入れた。</p>							
	④ 医療機能等指標に係る数値目標	上段(青色セル): 目標、中段: 実績、下段: 達成度							
	1) 医療機能・医療品質に係るもの	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
超音波検査数	503	572	634	730	730	730	730		
				456	454	545	370		
				62.5%	62.2%	74.7%	50.7%		
胃内視鏡検査数	590	572	539	650	650	650	650		
				539	487	534	361		
				82.9%	74.9%	82.2%	55.5%		
CT検査数(入院)	755	751	694	700	700	700	700		
				505	498	521	469		
				72.1%	71.1%	74.4%	67.0%		
CT検査数(外来)	1,028	1,214	1,216	1,200	1,200	1,200	1,200		
				1,085	951	1,236	955		
				90.4%	79.3%	103.0%	79.6%		
救急搬送者数	309	307	295	269	269	269	269		
				275	246	245	194		
				102.2%	91.4%	91.1%	72.1%		
リハビリ収益(入院)	13,393	13,520	4,673	13,456	13,456	13,456	13,456		
				11,381	12,913	13,357	11,814		
				84.6%	96.0%	99.3%	87.8%		
リハビリ収益(外来)	1,454	1,861	286	1,657	1,657	1,657	1,657		
				239	505	227	75		
				14.4%	30.5%	13.7%	4.5%		
⑤ 住民の理解のための取組	<p>【プラン】 地域に身近な病院として、その運営等については当面、現行を維持することとしているが、社会情勢とともに病院運営の在り方については弾力的に対処することとしている。また、町広報誌の病院専用ページを通じ、最新情報や健康アドバイス等を提供しているほか、院内に「ご意見投書箱」を設置し、幅広く病院利用者の意見を聴取しながら、病院運営に反映させている。 【令和2年度】 前年度に引き続き町広報誌での情報提供や「ご意見投書箱」設置の取組みは継続した。</p>								

① 経営指標に係る数値目標								
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	備考
1)収支改善に係るもの								
経常損益の額	▲ 2,861	19,641	21,775	1,590 21,105	1,243 23,092	1,166 16,379	5,329 19,326	
				1327.4%	1857.8%	1404.7%	362.7%	
経常収支比率	99.8	101.7	102.0	100.1 101.9	100.1 102.2	100.1 101.5	100.5 101.8	
				101.8%	102.1%	101.4%	101.3%	
医業収支比率	83.8	82.4	81.6	81.1 78.8	80.8 73.1	78.6 72.9	78.3 62.5	
				97.2%	90.5%	92.7%	79.8%	
累積欠損金	▲ 10,296	▲ 29,937	▲ 51,712	▲ 32,985 ▲ 72,835	▲ 34,228 ▲ 95,929	▲ 35,394 ▲ 103,330	▲ 40,723 ▲ 122,808	
				220.8%	280.3%	291.9%	301.6%	
2)経費削減に係るもの								
材料費対医業収益比率	22.8	21.0	18.4	21.5 18.4	21.6 17.8	21.7 18.0	21.7 19.5	
				85.6%	82.4%	82.9%	89.9%	
薬品費対医業収益比率	14.3	13.6	11.1	13.9 11.1	13.9 11.0	14.0 10.7	14.0 11.5	
				79.9%	79.1%	76.4%	82.1%	
業務委託費対医業収益比率	11.8	12.3	12.8	12.6 13.9	12.6 15.4	12.7 15.0	12.7 17.4	
				110.3%	122.2%	118.1%	137.0%	
3)収入確保に係るもの								
1日当たり入院患者数	41.7	43.0	40.8	42.1 40.2	42.0 35.5	41.9 37.5	41.9 31.6	
				95.5%	84.5%	89.5%	75.4%	
1日当たり外来患者数	196.8	187.0	177.9	182.9 174.6	182.5 168.6	182.2 160.2	181.8 134.0	
				95.5%	92.4%	87.9%	73.7%	
上記のうち附属診療所	40.2	35.0	41.0	40.0 38.1	40.0 36.1	40.0 34.2	40.0 27.8	
				95.3%	90.3%	85.5%	69.5%	
病床利用率	83.4	89.6	84.9	87.7 85.6	87.6 80.8	87.4 85.3	87.2 71.8	
				97.6%	92.2%	97.6%	82.3%	
患者1人1日当たり診療収入(入院)	24,759	24,009	24,145	24,010 22,685	24,010 23,152	24,010 22,529	24,010 22,672	
				94.5%	96.4%	93.8%	94.4%	
患者1人1日当たり診療収入(外来)	5,956	6,016	5,995	6,010 5,715	6,010 5,502	6,010 6,025	6,010 5,815	
				95.1%	91.5%	100.2%	96.8%	
上記のうち附属診療所	6,302	6,431	6,485	6,500 6,521	6,500 5,444	6,500 6,290	6,500 6,536	
				100.3%	83.8%	96.8%	100.6%	
4)経営の安定性に係るもの								
医師数(人)	6	5	6	6 5	6 6	6 6	6 6	
				83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	
看護師数(人)	26	26	26	26 25	26 24	26 25	26 28	
				96.2%	92.3%	96.2%	107.7%	
薬剤師数(人)	2	2	2	2 2	2 2	1 1	1 1	
				100.0%	100.0%	2.0%	50.0%	
臨床検査技師数(人)	2	2	2	2 2	2 2	2 2	2 2	
				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
診療放射線技師数(人)	2	2	1	2 1	2 2	2 2	2 2	
				50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
管理栄養士数(人)	1	1	1	1 1	1 1	1 1	1 1	
				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
理学療法士数(人)	2	2	1	2 2	2 2	2 2	2 2	
				100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

② 目標達成に向けた具体的な取組		計画	実績
民間的経営手法の導入	平成14、15年度に民間委譲を検討し折衝を行った経緯があったが、病院の規模・地域性により民間委譲、指定管理制度の導入は馴染まないと考える。当面は現行形態での運営を予定しているが、民間委託の更なる活用など委託業務の見直しを検討することとしている。	令和2年度においては民間的経営手法や指定管理制度の導入及び業務の新たな民間活用には至らなかった。引き続き、業務の見直し等を行い、費用対効果を検証のうえ、必要に応じて民間委託の活用又は民間的経営手法の導入を検討する。	
事業規模・事業形態の見直し	平成27年度中において一般50床から48床へ2床の病床削減を行った。当院は町国保直営の診療施設として、また、二次救急医療を提供する救急告示病院として、その機能を果たしている。また、併設の介護老人保健施設(50床)についても入所はもとより通所リハビリについても地域ニーズは存在している。現在病院、老健とも理学療法士、看護師等一部医療スタッフが不足しているが、当面は医療従事者体制を充実させ現行形態での事業継続を目指すこととなる。	前年度に比し、看護師が3名増員となり、医療従事者の充足が図られた。 今後も患者数の動向を注視しつつ、地域医療構想の趣旨に則った病院の在り方を検証し、病院規模の適正化や事業形態の見直しに努めていく。	
経費削減・抑制対策	経費面においては、医療機器の計画的な購入及び保守費用等、薬品費、診療材料費、医事業務等の各種業務委託料等を精査・見直しをし、経費の節減・抑制に努めていく。 人件費については、医師、技師部門、看護師等の必要最小限の人員は確保しつつ、臨時的に任用している職員の雇用及び院内各部門の人員配置の精査を行い、人件費の抑制・圧縮に努めることとする。	医療機器の更新については計画的に行われ、交付金や助成金の活用により、更新投資の自己資金及び今後生じる減価償却費の実質的負担の軽減が図られた。 また、後発医薬品の積極的活用等により、薬品費の削減・抑制も図られた。	
収入増加・確保対策	入院については1日平均41.0人以上(病床利用率87%以上)、外来については歯科及び附属三院診療所含めて181.0人を確保し収入の維持・増加を図っていく。合わせて医療スタッフを充実させるとともに各種検査機器、健康診断システム等の医療機器も整備し診療の質を高めて収入増につなげていくこととする。	新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者数及び外来患者数ともに目標値を大幅に下回り、医業収益は激減となった。 診療圏内の福祉施設等への往診業務は主に電話やファクシミリ等による代替え措置で継続したため、受診事業収益は確保することができた。	
その他	健診業務を効率化し収入増を図るため健診新システムの導入を検討する。また、当院においては平成24年度にオーダーリングシステムを導入しているが、外来待ち時間及び診療時間の短縮、更なる診療の拡充・効率化を図るため電子カルテの導入を検討する。	健診システムは既に導入済みであるが、診療の拡充・効率化及び患者サービスのための電子カルテ導入にあたっては費用面及び運用面等での環境が整わなかったため、引き続き導入の検討を継続する。	
(3)再編・ネットワーク化に向けた取組	【プラン】 地域医療構想で示された機能分化・連携の方向性に基づき、毎年圏域ごとに開催される地域医療構想調整会議等を活用しながら圏域内の機能分化・連携について検討していくとともに、再編ネットワーク化の必要性についても検討する。 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域医療構想調整会議等が開催されず、また、院内感染対策や発熱外来への対応等により、機能分化・連携及び再編・ネットワーク化等の議論や検討等は行われなかった。		
(4)経営形態の見直し	【新プラン記載内容】 平成14、15年度の民間委譲の検討・折衝の際には一般病床を療養型病床に変更し、病床数を削減して経営の効率化を図るということが検討されたようである。当院は圏域唯一の救急告示病院であり、また、入院患者の病態、平均在院日数の状況からみても回復期の患者が多いものの、急患等も来院することから急性期医療の一翼も担っている医療機関であるといえる。また、立地的にも過疎地域の不採算築病院であり、料金収入のみによる経営の安定化は厳しい状況であることから、民間委譲、指定管理制度の導入は馴染まないと考える。当面は現行形態での運営を予定しているが、病院の独立性を確保するため、前プランに引き続き公営企業法全部適用の可否の検討を継続するものとする。 【令和2年度】 具体的な結論に至らなかったものの、組織体制及び経営状況等を踏まえ、引き続き公営企業法全部適用の可否等について検討する。 また、津軽半島北東部を診療圏域し、第二次救急医療やへき地医療を担う有床自治体病院として、その経営基盤の強化や圏域内の限られた医療資源の有効活用の観点から、隣接町村との広域的運用の可否について検討した。		
総合評価	急激な過疎化の進行等により、患者数が減少し、各個別項目の殆どで目標数値に及ばなかったことが要因で収支ギャップが拡大し、多額の財源不足が生じたが、一般会計からの繰入金増額により、辛うじて純利益を確保することができた。 今後も患者数の増加は見込めない状況であることから、収益性の高い病床への転換、各種検査の充実、取得可能な施設基準の模索、適正な労務管理を維持した上での職員数の見直し等を行い、経営の健全化に努めるとともに、地域の中核病院として外ヶ浜中央病院に課せられた役割や責務を着実に果たしていきたい。		
その他特記事項	現状建物のままでは関係法令に抵触する恐れがあるほか、老朽化が著しく維持管理費が高止まりしていること等を踏まえ、令和元年度から新築を前提とした今後の病院整備の在り方について検討に入り、令和2年度においては「新病院の基本構想」の策定に至った。		

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (計画A)	R2年度 (実績B)	R2年度 (差B-A)
収 入	1. 医 業 収 益 a	741,165	706,526	664,012	616,036	621,972	720,347	531,631	▲ 188,716
	(1) 料 金 収 入	651,294	618,272	576,475	531,376	541,069	632,703	450,688	▲ 182,015
	(2) そ の 他	89,871	88,254	87,537	84,660	80,903	87,644	80,943	▲ 6,701
	うち他会計負担金	48,693	48,143	47,452	45,332	44,502	48,356	44,400	▲ 3,956
	2. 医 業 外 収 益	421,304	427,929	445,938	479,892	474,850	460,828	573,446	112,618
	(1) 他会計負担金・補助金	175,497	191,124	248,281	276,000	252,500	193,484	342,175	148,691
	(2) 国（県）補助金	3,434	3,369	3,542	3,512	3,533	3,400	9,205	5,805
	(3) 長期前受金戻入	30,993	32,579	27,493	25,860	28,936	31,291	31,723	432
	(4) そ の 他	211,380	200,857	166,622	174,520	189,881	232,653	190,343	▲ 42,310
	経 常 収 益 (A)	1,162,469	1,134,455	1,109,950	1,095,928	1,096,822	1,181,175	1,105,077	▲ 76,098
支 出	1. 医 業 費 用 b	899,121	866,006	842,281	842,781	853,022	919,423	849,946	▲ 69,477
	(1) 職 員 給 与 費 c	536,645	540,582	538,060	543,467	555,613	550,194	560,162	9,968
	(2) 材 料 費	155,720	129,947	122,036	108,832	111,680	156,498	103,614	▲ 52,884
	(3) 経 費	141,384	136,576	126,213	131,419	125,917	142,658	125,036	▲ 17,622
	(4) 減 価 償 却 費	63,366	57,071	51,803	50,261	56,960	68,017	59,824	▲ 8,193
	(5) そ の 他	2,006	1,830	4,169	8,802	2,852	2,056	1,310	▲ 746
	2. 医 業 外 費 用	243,707	246,674	246,564	230,055	227,421	256,423	235,805	▲ 20,618
	(1) 支 払 利 息	4,874	5,797	5,167	4,537	3,919	4,800	3,349	▲ 1,451
	(2) そ の 他	238,833	240,877	241,397	225,518	223,502	251,623	232,456	▲ 19,167
	経 常 費 用 (B)	1,142,828	1,112,680	1,088,845	1,072,836	1,080,443	1,175,846	1,085,751	▲ 90,095
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	19,641	21,775	21,105	23,092	16,379	5,329	19,326	13,997	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	18	2	0	0	5,802	5,802
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	8,978	0	5,650	5,650
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	18	2	▲ 8,978	0	152	152
純 損 益 (C)+(F)	19,641	21,775	21,123	23,094	7,401	5,329	19,478	14,149	
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 29,937	▲ 51,712	▲ 72,835	▲ 95,929	▲ 103,330	▲ 40,723	▲ 122,808	▲ 82,085	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	327,938	343,158	372,326	408,456	402,272	280,727	444,223	163,496
	流 動 負 債 (イ)	109,978	105,281	107,371	109,973	95,584	109,608	92,696	▲ 16,912
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
不 良 債 務 差 引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)] (オ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.7	102.0	101.9	102.2	101.5	100.5	101.8	1.3	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	82.4	81.6	78.8	73.1	72.9	78.3	62.5	▲ 15.8	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	72.4	76.5	81.0	88.2	89.3	76.4	105.4	29.0	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	
病 床 利 用 率	89.6	84.9	85.6	80.8	85.3	87.2	71.8	▲ 15.4	

団体名 (病院名)	外ヶ浜町国民健康保 険外ヶ浜中央病院
--------------	-----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (計画A)	R2年度 (実績B)	R2年度 (差B-A)
収 入	1. 企業債	37,600	3,900	0	0	0	9,000	0	▲ 9,000
	2. 他会計出資金	0	6,269	4,508	6,197	8,728	0		0
	3. 他会計負担金	20,373	18,839	17,338	13,726	12,077	22,000	42,464	20,464
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	20,868	0	28,000	28,000	28,000	0	17,000	17,000
	6. 国(県)補助金	2,700	0	0	40,000	0	0	26,348	26,348
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	81,541	29,008	49,846	87,923	48,805	31,000	85,812	54,812
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	81,541	29,008	49,846	87,923	48,805	31,000	85,812	54,812	
支 出	1. 建設改良費	64,461	12,895	37,015	80,394	46,912	11,000	57,689	46,689
	2. 企業債償還金	60,943	64,155	56,284	48,957	46,297	49,958	44,781	▲ 5,177
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	6,345	0	0	0	0	6,345	0	▲ 6,345
支出計 (B)	131,749	77,050	93,299	129,351	93,209	67,303	102,470	35,167	
差引不足額 (B)-(A) (C)	50,208	48,042	43,453	41,428	44,404	36,303	16,658	▲ 19,645	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	50,208	48,042	43,453	41,428	44,404	36,303	16,658	▲ 19,645
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	50,208	48,042	43,453	41,428	44,404	36,303	16,658	▲ 19,645	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円、%)

	H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (計画)	R2年度 (計画A)	R2年度 (実績B)	R2年度 (差B-A)
収益的収支	(88,000)	(105,279)	(61,832)	(26,000)	(12,500)	(104,840)	(26,568)	(▲ 78,272)
資本的収支	224,190	239,267	295,733	321,332	297,002	241,840	386,575	144,735
合計	(108,868)	(108,325)	(89,832)	(54,000)	(40,500)	(104,840)	(67,500)	(▲ 37,340)
	265,431	264,375	345,579	369,255	345,807	263,840	446,039	182,199

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。